

遊びの仲間

このころ、会津藩の学校は日新館にっしんかんといつていたが、ここは十歳にならなければ入学することができなかつた。六歳から九歳の男の子どもたちは、みんな近くで遊びの仲間をつくつていた。午前中は、それぞれ、近くの寺小屋とか、先生の家に行つて勉強をした。午後になると、必ず近所の仲間が集まつて遊んだ。子どもたちは、雨が降つても風が吹いても、この仲間の遊びに参加した。ひとりであつてに遊ぶことは許されなかつた。

遊びの仲間では、年齢れいの区別がきびしかつた。年下とししたの者は、必ず年上としうえの者の後にしたがつた。同い年おなまたは一つ違ちがいの者は、お互いに相手の名前を呼び捨てにしてもよかつたが、二つ以上違う場合、年下の者が年上の者を呼ぶときは、